

農作業安全パトロール ==

田植機 巻き込まれ・転落編



農作業事故はどのくらい起きているの?

農作業事故は年間 約7万件、1日あたり約200件発生しています!※1 農業従事者10万人あたりの死亡事故者数は建設業の約2倍となっています!!

※1 共済金支払データに基づきJA共済連にて推計 ※2 農林水産省調べ



田植機ではどのような事故が起きているの?

乗降中の転倒ゃ準備・整備中の回転部への巻き込まれ・鋭部との接触事故が 多く発生しています。

特に5~6月に多発しています。

※共済金支払データに基づくJA共済連調べ

事故事例1:詰まり除去時の巻き込まれ事故

植付部に挟まっていた石を 取り除いたところ、再び回り 始めた植付爪が手に刺さり、 右手を5針縫うケガをしてし まいました。





事故の要因

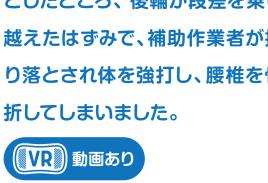
- 環 環境要因 物 物要因 🦶 人要因
- トラブルの原因を確認しようとして、エンジンを切らずに植付部の確認を行いました。
- 原因がわかったあとも、ほかの植付爪が動いているにも関わらず、エンジンを切らずに、引き続 き、石の除去作業を続けていました。

対策

(1) 異音や異変に気付いて植付部の確認を行う際は、必ずエンジンを切ってから確認作 業を行うようにしましょう。

事故事例2: ほ場退出時の転落事故

補助作業者を機体前部にしがみ つかせて、前進でほ場から出よう としたところ、後輪が段差を乗り 越えたはずみで、補助作業者が振 り落とされ体を強打し、腰椎を骨





事故の要因



- 前進で乗り越えるには危険な畦の高さとなっていました。
- 坂を前進で上ると前輪が浮く恐れがあるため、それを防ごうと、機体前部に重り代わりに補助 作業者を乗せていました。
- バランスを崩す恐れがあるにも関わらず、前進でほ場から出ようとしていました。

対策

- **(1)畦が高い場合やほ場進入路の傾斜が大きい場合はバックで退出し、機体の安定を図りましょう。**
- ② やむを得ず前進で出る場合には、補助作業者を乗せるのではなく、ほ場進入路の整備や降りて 歩行操作で畦超えできる機械の利用を検討しましょう。

よくある事故シーンを動画で紹介!

農作業事故を再現した

「田植機 巻き込まれ・転落編(VR動画)」 はこちら!

事故の要因や対策が学べます!!





※こちらのチラシおよび動画などのコンテンツは、自由にご活用ください(非商用に限ります)。

